

2024年 東部部会 第4回 研究報告会の開催報告

日本中小企業学会東部部会の第4回研究報告会は、オンラインで開催され、活発な議論が展開されました。

- 日時：2024年8月4日（日）午前 10:30～11:30
- 開催場所：オンライン
- 参加人数 11名
- 司会：岡田浩一（明治大学）

■ 研究報告

報告者：當間俊介（アクセンチュア）
岡室博之（一橋大学）

テーマ：「地域の小売店舗の犯罪誘発・抑止効果：食料品店とコンビニの比較」

報告概要:

地域の中小小売店や商店街の役割は「まちづくり」や街の賑わいの観点から議論されているが、地域の治安の視点からの議論が乏しい。本報告では、地域の小売店舗の外部効果を定量的に明らかにするために、24時間（夜間）営業のコンビニとの比較を行った。具体的には、地域の食料品小売店の外部効果（犯罪誘発・抑止効果）を定量的に検証した結果が報告された。

報告では、コンビニの犯罪誘発効果が犯罪抑止効果を大きく上回っていることが明らかになった。また、コンビニの犯罪件数への影響は食料品店と比べて有意に大きいことが示された。さらに、商業集積地区の食料品店については、昼間の「有能な監視者」による抑止効果と「恰好の犯罪標的」による誘発効果が拮抗していることが明らかになった。

報告後の質疑応答では、本研究の結論を東京都以外の地域に一般化する可能性や、コンビニの立地戦略と地域固有要因との関係性、中小企業論への貢献や中小企業経営への示唆について議論が行われた。

以上

地域の小売店舗の 犯罪誘発・抑止効果 食料品店とコンビニの比較

2024年8月4日

日本中小企業学会東部部会報告（オンライン）
當間俊介（アクセンチュア）・岡室博之（一橋大学）



當間俊介（アクセンチュア株式会社）